

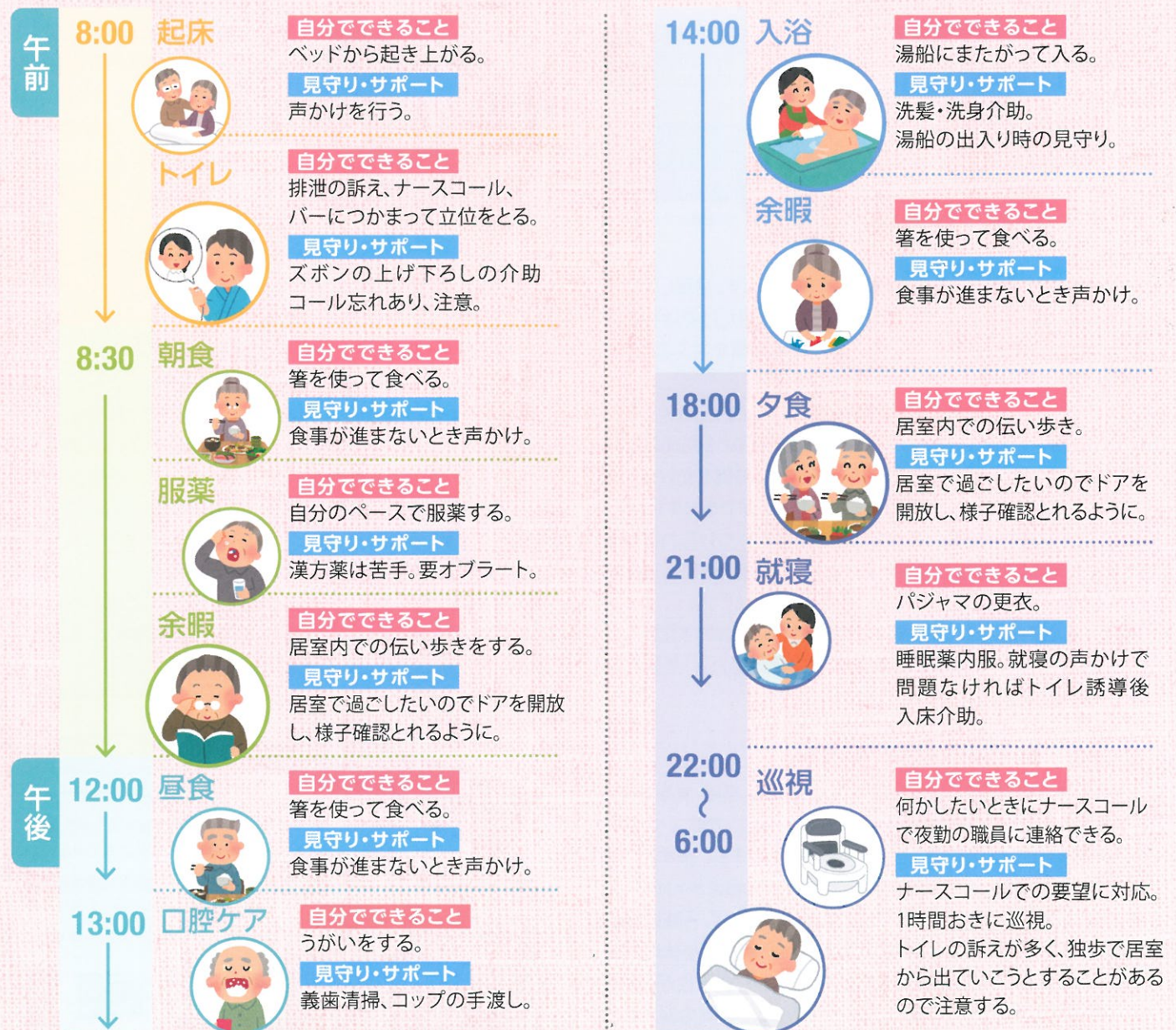
「見守り」というと何をイメージしますか？食事をしている時に見守る、ご利用者同士でトラブルが起きないように見守る、センサー・機器を使って安否や状態の確認を行うなどでしょうか。「見守り」の意味が施設内で共通認識になるように、しっかりコミュニケーションをとることがあらゆるリスクの低減に繋がります。

■見守られる高齢者の行動・特性の把握

ご利用者の1日の行動を理解することは、危機管理の面からも大切なことです。新職員も増える春、ご利用者の行動を書き出して整理・共有することから始めてはどうでしょうか。



下記はとある施設のご利用者Aさんの一日です。何を見守り・どこまでサポートするのがいいのでしょうか。



見守りにおいては、職員の不足と負担感（特に夜間）、介護の質・環境、「干渉されたくない」という利用者感情などの難しさがあります。ご利用者の気持ちに配慮しつつ効率的で効果的な見守りができるよう、日々の行動や体調の把握に努め、バイタル情報も含めた総合的な見守りを構築していきましょう。最近ではセンサーなどの機器を使った見守りも普及してきていますので、導入を検討してみるのもひとつではないでしょうか。